

南アルプス市立豊小学校・・・12月1日（金）訪問

訪問者：田中健史朗

南アルプス市立豊小学校は、児童数は約250名（学級数10）であり、地域全体で児童を支える教育環境が整っている学校です。そのため、地域の方のご指導のもと、切子や養蚕に取り組む教育活動があります。「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランスよく育むことに取り組みながら、何より児童が「明日も学校に来たい」と思えるような学校づくりに取り組んでいる小学校です。

豊小学校の卒業生でもある幼小発達教育コースの山本萌夏さんが教育ボランティア活動していました。校長先生である井上武人先生は当時担任の先生だったそうです。教育ボランティア活動では、授業の補助を行っており、児童の個別学習サポートを丁寧に行っていました。休み時間も児童との交流を行っており、「学びが多く、このような環境で学校の先生がやりたい！」という山本さんの言葉が印象的でした。

当日はお忙しいところをご対応くださった校長の井上武人先生に心より感謝申し上げます。



学習支援する山本さんの様子

### 【教育ボランティア学生へのインタビュー】

#### 「教育実習の前と後での違い」

視野を広くもって子どもと関われるようになりました。そのため、授業者の先生の意図を考えながら声かけするようになったり、消極的な児童にも目を向けられるようになったりしました。

#### 「教職を目指す気持ちの変化」

先生ってすごいな、すてきなと思いました。それは授業だけでなく、クラス経営も含めて、工夫がいっぱいであり、自分も教師として子どもたちとのその時間を過ごしたいと思うようになりました。

#### 「教育ボランティアをやってよかったと思うこと」

現場でリアルな子どもや子ども同士の関わりを知ることができたのが良かったです。教育実習とは違い、自分で考えて動いたり、視野を広げたりして、教師や子どもたちを観察することができるのが成果になりました。

### 【井上校長先生へのインタビュー】

教育ボランティアの学生を受け入れるようになり、教職員が児童一人ひとりの理解度や課題に合わせて、きめ細やかな指導を行うことができるようになりました。また、学生さんは、豊小学校の出身であるため、児童にとって将来のモデルとなっていることも大きな成果です。休み時間など、児童が学生さんに声をかけ、一緒に遊んでいる姿が見られ、児童の活動が活性化したと感じています。

教育ボランティアの学生さんには、児童との関わりを通して、教員という素晴らしい職業の魅力に気づいてほしいと思います。また、児童にとっても、大学生と交流することで将来の目標をもてるきっかけになると期待しています。

教育ボランティア活動を受け入れ、様々なご配慮をいただいている豊小学校の先生方に感謝申し上げます。